

令和元年度決算の概要について

公立大学法人福島県立医科大学

1 はじめに

本法人の第14期（令和元年度）財務諸表については、令和2年9月11日付けで福島県知事の承認を受けました。

この財務諸表は、企業会計を原則としつつ、公立大学法人特有の会計処理を加味した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成したものであり、法人の財政状態や運営状況を示すものです。

2 財務諸表の概要について

(1) 財政状態（別表1 貸借対照表参照）

資産の総額は約809億7千8百万円で、その内訳は土地、建物、備品、機器等の固定資産合計が約674億1千4百万円、現金及び預金、未収附属病院収入等の流動資産合計が約135億6千4百万円となっています。

負債の総額は約533億6千8百万円で、その内訳は資産見返負債、福島県からの長期借入金等の固定負債合計が約397億6千3百万円、未払金、未執行の寄附金である寄附金債務等の流動負債合計が約136億5百万円となっています。

純資産の総額は約276億1千万円で、その内訳は福島県から抛出された土地、建物等である資本金が約426億9千3百万円、損益外減価償却累計額等の資本剰余金が約マイナス148億8千1百万円、繰越欠損金が約2億2百万円となっています。

(2) 運営状況（別表2 損益計算書参照）

経常費用合計約602億9千4百万円から経常収益合計約610億2千4百万円を差し引いた経常利益は約7億3千万円で、これに臨時損失の約5千4百万円と、臨時利益約1億4千5百万円を加味した当期総利益は約8億2千1百万円となっています。

令和元年度は、附属病院において、診療経費の増や教職員数の増等による費用が増加した一方で、診療単価の増等により過去最高となる医業収益を計上したことにより当期総利益を計上しています。

なお、当期総利益については、地方行政法人法第40条第1項の規定に基づき、約8億2千1百万円全額を前期繰越欠損金の処理に充てています。

ア 経常費用

経常費用の構成比率は、人件費が全体の約39.9%、診療経費が約39.0%、その他の経費が約21.1%となっています。

イ 経常収益

経常収益の構成比率は、附属病院収益が全体の約 56.0%、運営費交付金収益が約 18.9%、その他の収益が約 25.1%となっています。

ウ 臨時損失

臨時損失は、固定資産除売却損等で約 5 千 4 百万円となっています。

エ 臨時利益

臨時利益は、保険料収入等で約 1 億 4 千 5 百万円となっています。

3 おわりに

本法人では、平成 25 年 5 月に会津医療センター、平成 28 年 12 月にはふくしま国際医療科学センターを開設したほか、平成 29 年 7 月には手術室棟が完成し、新たな学部設置に向けて着々と準備を進めており、医療人の教育・育成や地域医療の充実・支援に積極的に取り組んでいるところです。こうした中、令和元年度決算において 4 期ぶりに当期総利益を計上することとなったものの、次期繰越欠損金が生じていることから、引き続き経営の自立・安定化に向けた取組を着実に行っていく必要があります。

今後も、第 3 期中期計画の達成はもとより、外部資金等の更なる獲得や病院収益の向上、業務効率化による全ての経費の削減など、一層の財務基盤の充実・強化を図りながら、法人の使命をしっかりと果たしてまいります。

別表1(貸借対照表)

(単位:百万円)

区 分		第13期 (平成30年度)	第14期 (令和元年度)	増 減	区 分	第13期 (平成30年度)	第14期 (令和元年度)	増 減			
資 産 の 部	固定資産	土地	8,331	8,331	-	固定負債	資産見返負債	34,310	32,024	△ 2,286	
		建物	45,908	43,559	△ 2,349		長期寄附金債務	210	179	△ 31	
		構築物	2,030	1,803	△ 227		長期借入金	6,931	6,477	△ 454	
		工具器具備品	10,482	8,525	△ 1,957		長期リース債務	1,273	937	△ 336	
		図書	2,061	2,069	8		その他	121	146	25	
		建設仮勘定	473	1,046	573		固定負債合計	42,845	39,763	△ 3,082	
		その他	27	20	△ 7		流動負債	運営費交付金債務	123	395	272
		有形固定資産合計	69,313	65,353	△ 3,960			寄附金債務	2,311	2,422	111
		無形固定資産合計	803	535	△ 268			前受受託研究費等	777	849	72
	投資その他の資産合計	2,191	1,525	△ 666	1年内返済予定長期借入金	1,820		1,490	△ 330		
	固定資産合計(1)	72,308	67,414	△ 4,894	未払金	6,383		6,407	24		
	流動資産	現金及び預金	2,977	4,479	1,502	短期リース債務		418	473	55	
		未収附属病院収入	6,328	6,640	312	未払費用		461	462	1	
		その他未収入金	2,079	2,123	44	賞与引当金		665	673	8	
		医薬品及び診療材料	262	275	13	その他	345	433	88		
		その他	46	48	2	流動負債合計	13,303	13,605	302		
	流動資産合計(2)	11,692	13,564	1,872	負債合計(3)	56,148	53,368	△ 2,780			
					純資産の部	資本金	42,693	42,693	-		
						資本剰余金	△ 13,817	△ 14,881	△ 1,064		
						利益剰余金(繰越欠損金)	△ 1,023	△ 202	821		
						(うち当期総利益)	△ 580	821	1,401		
						純資産合計(4)	27,852	27,610	△ 242		
資産合計(1+2)	84,000	80,978	△ 3,022	負債純資産合計(3+4)	84,000	80,978	△ 3,022				

[増減の主な内容]

- 1 固定資産は、実験動物研究施設の増設等により建設仮勘定が増加し、減価償却により工具器具備品等が減少しました。
- 2 流動資産は、補助金等の概算払いのため、現金及び預金が増加しました。
- 3 固定負債は、補助金等を財源として取得した固定資産の減価償却等により資産見返負債が減少しました。

別表2(損益計算書)

(単位:百万円)

区 分		第13期 (平成30年度)	第14期 (令和元年度)	増 減	区 分	第13期 (平成30年度)	第14期 (令和元年度)	増 減	
経常費用	教育経費	887	889	2	経常収益	運営費交付金収益	10,229	11,540	1,311
	研究経費	4,495	4,164	△ 331		授業料収益等	878	862	△ 16
	診療経費	21,974	23,531	1,557		講習料収益	10	16	6
	教育研究支援経費	179	174	△ 5		附属病院収益	32,302	34,166	1,864
	受託研究費等	4,793	4,709	△ 84		受託研究等収益	6,337	6,347	10
	人件費	23,619	24,030	411		補助金等収益	3,705	3,668	△ 37
	業務費合計	55,946	57,497	1,551		財源措置予定額収益	777	601	△ 176
	一般管理費	2,656	2,714	58		資産見返負債戻入	3,621	3,342	△ 279
	財務費用	95	78	△ 17		財務収益	0	0	0
	雑損	4	5	1		雑益	457	481	24
経常費用合計(2)	58,701	60,294	1,593	経常収益合計(1)	58,316	61,024	2,708		
臨時損失	固定資産除売却損	34	18	△ 16	臨時利益	運営費交付金収益	-	-	-
	その他	163	36	△ 127		その他	2	145	143
	臨時損失合計(4)	197	54	△ 143		臨時利益合計(3)	2	145	143
経常利益(5)=(1-2)		△ 385	730	1,115					
当期純利益(6)=(5+3-4)		△ 580	821	1,401					
目的積立金取崩額(7)		-	-	-					
当期総利益(6+7)		△ 580	821	1,401					

[増減の主な内容]

- 1 診療経費の増は、附属病院収益が増加したことに伴う、医薬品、診療材料等の経費の増等によるものです。
- 2 人件費の増は、教職員数の増等によるものです。
- 3 附属病院収益の増は、診療稼働の増等によるものです。
- 4 資産見返負債戻入の減は、補助金等を財源として取得した固定資産の減価償却費の減等によるものです。